

有間川ボルダー(新規改訂版)

令和元年 5月 10日 RCT/K

今年3月に、山中沢ボルダーのチッピングを確認に行った際、以前紹介した、有間川の奥のボルダー(B岩)の状態を見に行った。林道から見下ろすと、岩上はブッシュと苔がいっぱいで、既に自然に返っていたが、川原まで降りてみてビックリする。昔とちょっと雰囲気が変わってよく見ると、台風による氾濫の影響か、何んと、岩が川側に45度ほど傾いてしまっていて、昔の課題は全て消えた状態となっていた。

しかしながら、新たにボルダリングの対象として見ると、却って魅力が増したように見え、落胆はなく、また新たにトライできることで嬉しい気持ちが湧いてきた。

この日はボルダー周辺のゴミ拾いをして帰宅し、その後、長野への帰省で暫く行けなかったが、4月に一時帰京した際、掃除とトライに行くことができた。

その後再度帰省したため、5月の一時帰京の今回によく記録のまとめができたので、簡単に紹介したい。

今回トライしたのはB岩だけであるが、この周辺には昔登ったボルダーが幾つか(A、C~G、W岩)あり、苔やブッシュが付いているものの、少し整備すれば再トライできるものもあるので、昔のトポで不明朗な部分はあるが、併せて紹介したい。

アクセスは、飯能市名栗河又から名栗湖方面に左折し、有間溪谷観光釣場から有馬林道に入る。地図参照。途中、滝の入沢橋に車止めがあるが、施錠はされておらず開閉可である。ボルダーへのアプローチは林道から踏み跡を降りれば直ぐである。駐車は林道横に広いスペースがあるので問題はない。



《課題紹介》

●B岩

トポ上左:林道側 上右:上流側 下左:下流側 下右:林道側下流側

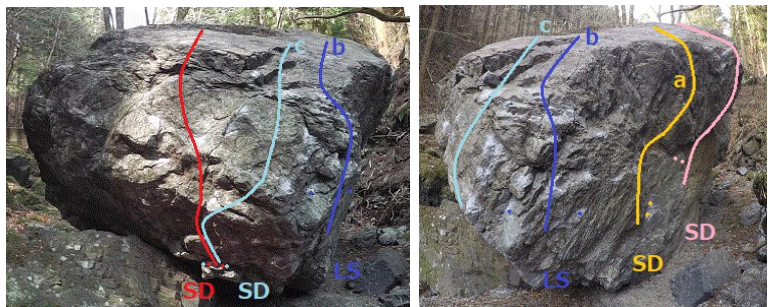
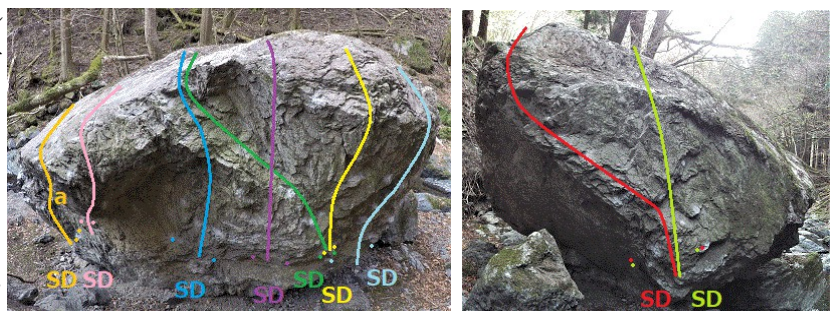
栃ノ木入出合周辺で、メインボルダーといえる岩。上記の通り、以前の状態から川側に45度ほど傾いてしまったので、新たにトライした。

上流側トポの黄緑ラインが以前上だった面である。

岩質はチャート、高さ2.5m程で、傾いたことで、林道側にも課題がいろいろと設定できたので、以前より楽しめるようになった。

面白そうな課題としては、上流側の赤ライン(課題名:クマタカ 黄緑ラインのガバを取ってから左のカンテに出ていく)、林道側の水色ライン(スタート左手は黄色ラインの下のカチホールド、右手はカンテのピンチ)とオレンジライン

(a)、下流側の水色ライン(課題名:哲人王)と赤ライン(課題名:天からの贈り物)などがムーヴが



あって楽しめる。下流側の藍色ライン(b)のスタート右手はガバの右下のカチホールド。

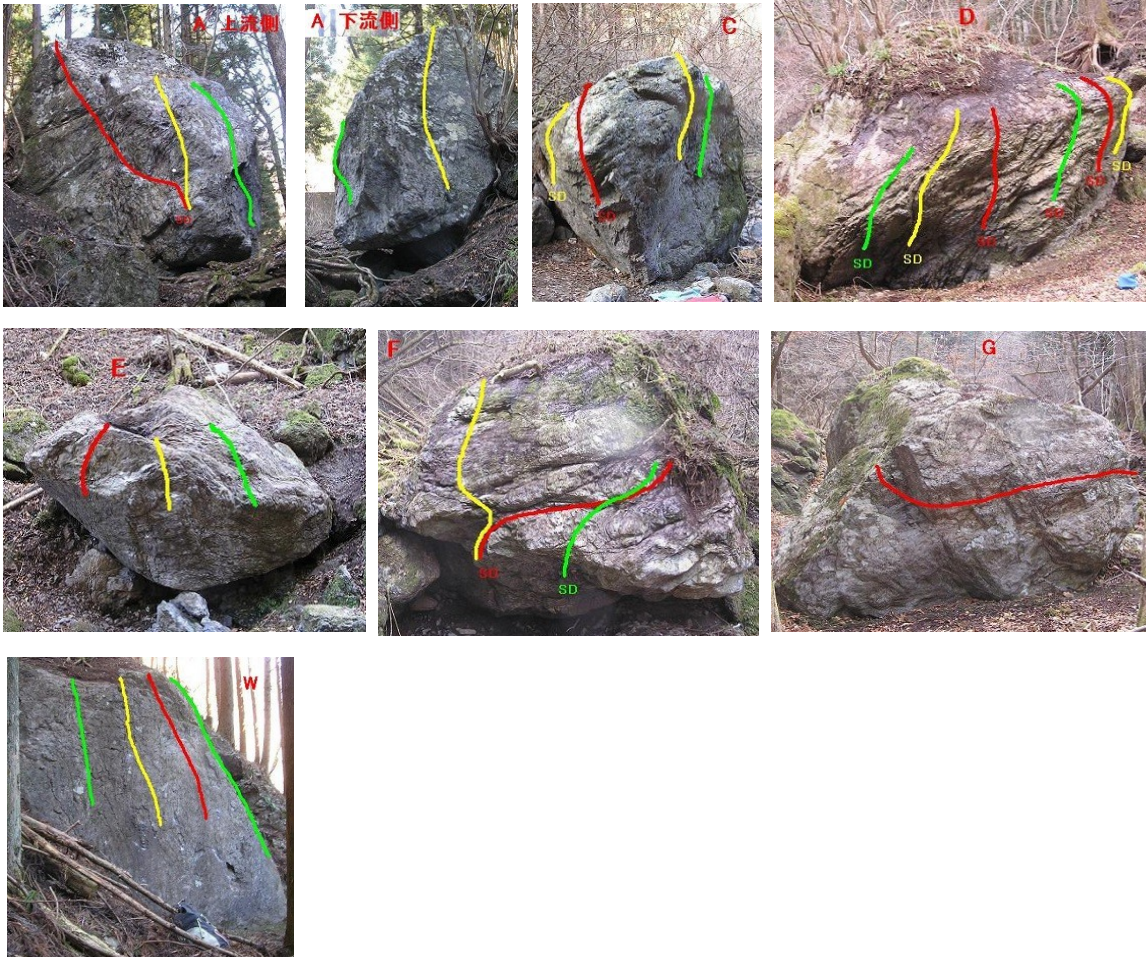
なお、未解決の課題としては、林道側水色ライン右のカンテ(ハングとのコンタクトライン)などがあるが、トライしたい方がいれば、やってもらっても構わない。

●周辺のボルダー

トポ上段左から、A 岩上流側、A 岩下流側、C 岩、D 岩。

トポ中段左から、E 岩、F 岩、G 岩

トポ下段、W 岩(林道より上の山の斜面にある岩)



現在、各ボルダーは苔やブッシュに覆われてしまっている。昔の記憶は定かではないが、A 岩の上流側、D 岩、F 岩辺りがそこそこ面白かったような気がする。いずれにしても苔落としや下地の整備はそれなりに必要である。